

## 令和6年度 ASEAN 向け省エネ受入研修(ECAP35)を実施しました

**【事業概要】** 一般財団法人省エネルギーセンター（ECCJ）は、経済産業省（METI）の委託を受けて ASEAN 多国間省エネ協力事業（AJEEP）を実施しております。その一環として、ASEAN 各国政府の省エネ政策関連部門の担当者を対象に、日本での受入研修を以下内容にて 2024 年 12 月 9 日から 13 日の 5 日間実施し、ASEAN 諸国における SAMEAS 導入に向けた詳細協議を行いました。



研修会場



施設見学

1. 研修期間； 令和6年12月9日(月)～13日(金)
2. 研修生； ミャンマーを除く ASEAN9 各国から 12 名
3. 講師； METI:1 名、ACE:1 名、ECCJ:10 名
4. 研修目的； ASEAN 諸国のエネルギー分野における共通課題として、域内労働力の流動性向上とカーボンニュートラル(CN)の実現を担う人材不足がある。こうした中、ECCJ は、AJEEP 事業の中で、SAEMAS の構築を支援している。SAMEAS は、ASEAN 共通の従来の省エネを主体としたエネルギー管理士と CN の実現に向けたシニアエネルギー管理士で構成される。本研修は、SAEMAS の確立に向け、エネルギー管理士及びシニアエネルギー管理士資格取得のための研修資料の最終化に向けた討議を進めること。また、制度確立に向けたトライアルの考え方、進め方の理解を促進することを目的とする。
5. 研修内容；
  - ・12月9日； METI, ACE, ECCJ の基調講演、参加国によるエネルギー管理士システム報告
  - ・12月10日； 省エネに関する研修資料の概要説明と討議、SAMEAS 確立に向けたトライアルの討議
  - ・12月11日； CN に関する研修資料の概要説明と討議、CN 実施企業訪問
  - ・12月12日； CN に関する研修資料の概要説明と討議、CN 実施企業訪問
  - ・12月13日； SAMEAS のオペレーションシステムやビジネスモデルの共有、各国の行動計画の発表
6. 結果概要； 率直かつ活発な意見交換を行い、SAEMAS 研修資料の令和6年度末の最終化に向け大きく進展した。また、トライアルの考え方及びスケジュールについて整理し、SAEMAS 確立に向け支援した。

- \* AJEEP : ASEAN-Japan Energy Efficiency Partnership (アセアン諸国に対する省エネ人材育成協力)
- \* ECAP : Energy Conservation Workshop under AJEEP (AJEEP のもとに実施される受入研修)
- \* METI : Ministry of Economy, Trade and Industry (経済産業省)
- \* ACE : ASEAN Centre for Energy (ASEAN エネルギーセンター)
- \* SAEMAS : Sustainable ASEAN Energy Manager Certification Scheme  
(CN に向けた持続的な ASEAN 地域共通のエネルギー管理に関する資格制度)